

バスに乗って遠くの市内へ

## ふるさとのお宝を探す旅



子どもたちに市内の魅力を見せよう、市では、夏休みの間、何度でも市民バス利用可能な「ふるさと雲南キヨロキヨロ探検バスポート」(通称キヨロバス)を発行して、学習・体験活動を支援しています。

雲南ブランド化プロジェクトへの取り組みを開始した本年度は、キヨロバス取得者を対象に、広域路線バスを利用した「ふるさと雲南冒険バスツアー」を企画。7月26日から8月23日の毎週木曜日に、延べ100人以上の子どもたちに市内の様々な魅力を紹介しました。



8月27日、市役所で雲南市Uターン推進協議会の設立総会が開催されました。同協議会は、団塊の世代を中心とした田舎暮らし気運が高まりつつある状況の中、定住希望者の受け入れ体制の充実と、Uターンの受け入れ事業を行うための市内関係機関及び庁舎内の

交流・定住人口の拡大に向け

## 雲南市Uターン推進協議会を設立

8月27日、市役所で雲南市Uターン推進協議会の設立総会が開催されました。同協議会は、団塊の世代を中心とした田舎暮らし気運が高まりつつある状況の中、定住希望者の受け入れ体制の充実と、Uターンの受け入れ事業を行うための市内関係機関及び庁舎内の

### 雲南市近畿ふるさと会

## 今後の活動計画を協議



9月2日、ニュー大阪ホテルで、「雲南市近畿ふるさと会」の役員会が行われ、出席した役員により、設立総会の総括や今後のふるさと会としての活動計画が協議されました。雲南市からは、映画「うん、何？」や産業振興への協力などをお願いし了承いただきました。



幹事については2年交替で運営されます。また、旧6町村の会が支部として残り、各支部の活動が継続して行われます。

# 雲南ニュース

8月24日、掛合公民館で出前授業「地球一受けたい授業inうんなん」が開催され、参加した掛合中学校の生徒ら約30人が、世界の国々の風土や考え方の違いを学びました。

同授業で行われたのは、「国際理解と自己啓発のための「流学ゲーム」」。このゲーム



## 掛合中学生ら流学ゲームで世界の風土を学ぶ

はロシアやインド、ブラジルなど外国人に扮した参加者が、踊りや宗教、文字などをテーマとする5つのコーナーを回り、世界の多様な文化や価値観を体全体で感じ、自分たちのことを見つめ直すものです。



9月1日から2日間、米国ミネソタ州のセントオラフ大学の学生ら21人が雲南市を訪れ、「日本の食・農業・家族」をテーマに体験学習とホームステイを行いました。

この事業は、早稲田大学からの要請に応え、雲南市国際文化交流協会(黒田直幸会長)が計画したものです。

### 米大学生ら雲南市へ

## 日本の食・農業・家族にふれる



佐代子さんによる「学校給食」の講演を聴きました。2日は、三刀屋町「フレッシュファーム神代」で座学研修や餅つき体験などを行い、吉田町「国民宿舎清風荘」の温泉を楽しんだ後、ホストファミリーと面会。各家庭へと分かれてホームステイを体験しました。